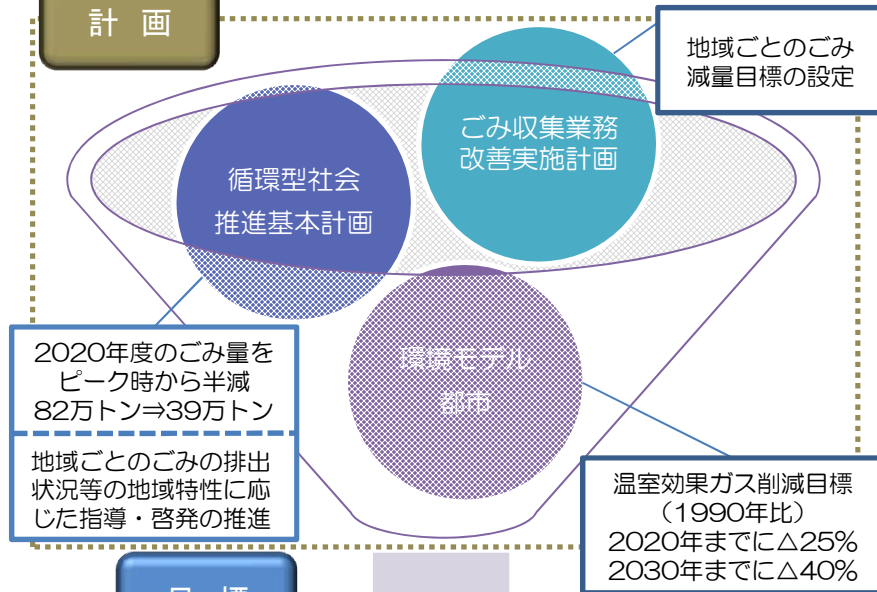


地域ごとに実施するごみ減量と適正分別率の向上に向けた取組について

平成22年12月
まち美化推進課

計 画



目 標

- ☆ 一人一人当たりの家庭ごみ排出量を
2015年度までに11%（50グラム）減らす
（460グラム（2008年度）⇒410グラム）
- ☆ 適正分別率の向上
（取組前〇〇% ⇒取組後100%）

市民とともにごみ減量に取り組むために

ごみ減量及び分別状況調査と啓発活動の実施

説 明

まち美化事務所スタッフが地元説明会を開催し、地域の方々にごみ減量の意義や取組例等を説明し、ごみ減量や適正分別率向上への協力をお願いする。

調 査

- 対象品目
燃やすごみ、缶・びん・ペットボトル、プラスチック製容器包装
- 調査対象地域
各まち美化事務所2学区
- 調査対象定点
1学区あたり3定点以上
- 調査期間
平成22年11月から1年間
- 実施手法
選定した定点に排出された全ての袋を抽出し、燃やすごみについては重量のみを（袋を開封しての組成調査は行わない）、缶・びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装については重量及び組成状況を調査する。

啓 発

まち美化事務所だよりの作成、分別指導など、きめ細かな啓発活動を行う。

一定期間、同一地点について継続的に調査⇒啓発を繰り返す

報 告

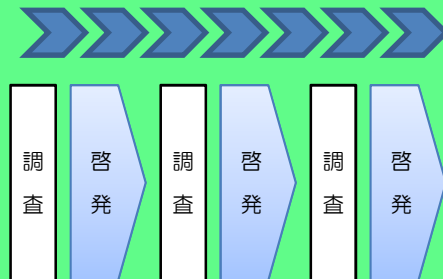
ごみ減量や適正分別率向上の成果を地元報告会で地域の方々へ報告し、目標に向けての継続的な取組の推進をお願いする。

＜取組イメージ＞

地元説明会

- 1 簡単な取組の説明と協力依頼
- 2 資料を活用しての啓発

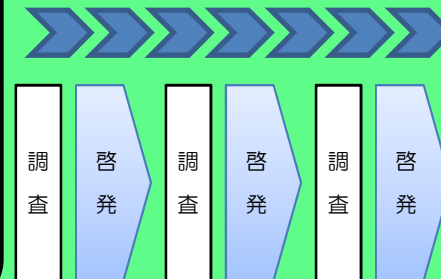
概ね6ヵ月



中間報告

これまでの調査結果や啓発実施状況等の報告
（中間まとめを回覧等で周知）

概ね6ヵ月



地元報告会

- 1 調査結果・啓発効果の報告
- 2 継続的な減量取組のお願い
- 3 さらなる減量に向けて
- 4 今後のスケジュール



ごみの減量と分別に、ご協力をお願いします。

〇〇学区にお住まいの皆様には、平素から、ごみの減量・リサイクルの推進、まちの美化にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

〇〇まち美化事務所においては、より一層のごみ減量やリサイクルを目的として、近隣の集積場所で排出された、燃やすごみ、缶・びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装について定期的に排出実態調査を行っています。

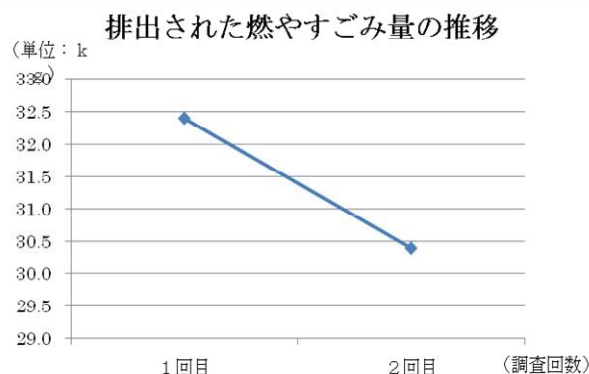
このたび、その調査内容がまとまりましたので、皆様方にお知らせいたします。

1 燃やすごみ

近隣の集積場所に排出されていた1週間分のごみの量を調査しました。
その結果、以下のとおりの重量でした。
燃やすごみの減量に御協力をお願いします。

★ ここにご注意して出してください！

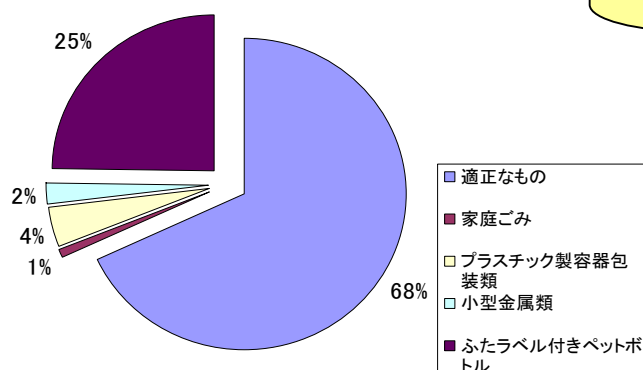
- 1 十分水切りをして出してください。
- 2 ガラスや刃物などの危険物は厚紙などで全体を包み、ごみ袋の中央に。
- 3 マッチやたばこの吸い殻などは、水につけてから出してください。
- 4 出来るだけ二重袋は避けてください。



2 缶・びん・ペットボトル

近隣の集積場所に排出されていたごみを調査しました。
その結果、〇〇%が、正しく排出されていました。
適正にごみを分別していただくことで、更にリサイクルが進みます。

缶・びん・ペットボトル
排出調査結果の内訳



キャップやラベルははずして出してね！



(不適正な出し方の例)

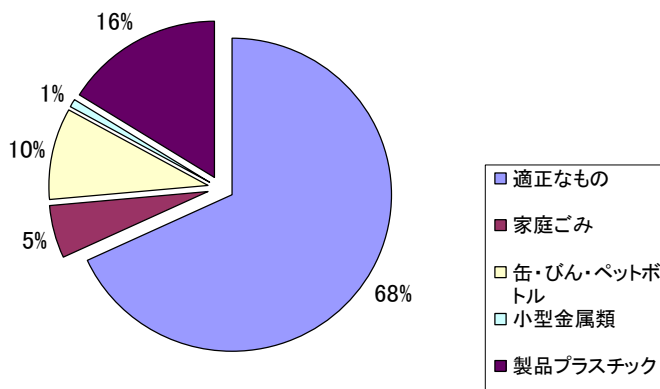
★ ここにご注意して出してください！

- 1 たばこの吸殻や異物は中に入れないでください。
- 2 缶とペットボトルは縦につぶさないでください。⇒機械で選別できなくなります。
- 3 ペットボトルのふたとラベルははずしてください。
- 4 中身は空にして洗って出してください。
- 5 ビンのふたははずしてください。

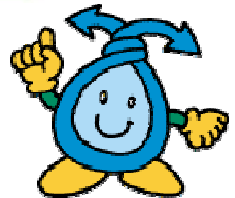
3 プラスチック製容器包装

近隣の集積場所に排出されていたごみを調査しました。
その結果、〇〇%が、正しく排出されていました。
適正にごみを分別していただくことで、更にリサイクルが進みます。

プラスチック製容器包装
排出調査結果の内訳



このマークが目印です！



(不適正な出し方の例)

★ ここにご注意して出してください！

- 1 汚れを取ってから出してください。
⇒ よごれのひどいものは燃やすごみに
- 2 缶・びん・ペットボトルとは必ず別々に出してください。
- 3 おもちゃ、洗面器、クリーニングの袋などはプラスチック製容器包装ではありませんので燃やすごみで出してください。
- 4 食材のトレイはスーパーなどで行っている店頭回収にご協力ください。